



決勝レポート

2012/5/27 Rd-3 AUTOPOLIS

天候：晴れ 気温：26℃ 出走台数：17台

観客数：26日(土)5,455人 27日(日)11,650人

阿蘇の山々に囲まれたオートポリスは、快晴の清々しい天候。

朝に行われたフリー走行では、伊沢選手、塚越選手共に ガソリン満タンの状態で、決勝戦略のベースとなるデータ収集と確認を行った。

午後になると日差しは一層強くなり、路面温度は午前中から 20 度も上がり、過酷な環境の中、一瞬の油断も許されない厳しいレースが予想された。

ポールポジションからスタートの塚越選手は素晴らしい動きだし、さらに抜群のスタートを決めたのは伊沢選手で、4 番手スタートから 2 台を抜き去ると、塚越選手、伊沢選手の 1-2 体制で 1 コーナーをクリアした。

その後 2 台は徐々に 3 位以下を引き離してゆく。後続車両のペースを監視しながら、チームはまず 37 周目に伊沢選手をピットへ呼び、13 秒という素晴らしいピット作業でポジションキープのままコースへ送り出す。39 周目には塚越選手もピットイン、12.5 秒のピットワークで首位のまま送り出した。終盤は、塚越選手と伊沢選手の攻防戦。息詰まる拮抗した展開であったが、塚越選手は一度も首位を譲ることなく、ポール・トゥ・ウインの完全試合で自身初の優勝を飾り、伊沢選手も 2 位でゴール。チーム初となる 1-2 フィニッシュでレースを喜びの涙で終えた。

塚越選手はポール to ウィンで 11 ポイントを加算しシリーズランキングトップへ。

伊沢選手は 8 ポイント獲得でシリーズランキング 3 位へ。

チームランキングもトップとなった。

40：伊沢 選手 2 位

昨日の予選のミスで 4 番手スタートとなったことの悔しさもあり、レース展開のイメージを考えながらも、まずはスタートに集中していました。首位までは届きませんでしたが、良いスタートが切れて、そこからは塚越選手との一進一退の攻防が最後まで続く、緊迫した厳しいレースでした。今回の 1-2 フィニッシュは、幸運で得たのではなく、我々チームの速さで獲得した真に意味のある勝利です。次は僕が優勝となるよう、油断せず気を引き締めて、シリーズランキングも意識しながら、シーズン中盤に臨みます。

41：塚越 選手 優勝

応援してくれるファンの皆様、スポンサー、HONDA そしてチームのみんなに優勝をプレゼントできてうれしいです。レースペースには自信があったので、スタートに集中していました。伊沢選手のペースが良かったので、燃費を気にしながら最後まで集中力を切らさないよう攻め続けました。ピットストップも最高の出来で、チーム全体の集中力とプロ意識があつてこそこの優勝です。次戦までの時間を有効に使って、次のステップへ。

もっともっと勝ちたいです。